



▲1日体験入学の様子▶



厚真高1日体験入学

厚真高校では、10月7日(金)に「1日体験入学」を実施しました。この1日体験入学は、次年度高校受験を目指す中学3年生を対象に毎年実施している取り組みです。

今年度は、町内や苫小牧市内などの各中学校から、生徒・先生・保護者など約50人の皆さまに参加していただきました。

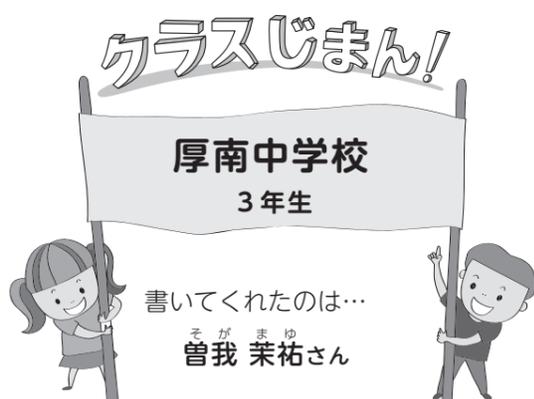
開会式では、校長先生からあいさつと1月から新設されるバス路線(厚高沼ノ端駅間直通バス)について説明がありました。また、学校の様子や行事に関して、教頭先生や生徒会生徒から映像を使った説明がありました。その後各教科で「体験授業」が行われ、実際に厚高の授業に参加してもらいました。約3時間の「1日体験」を通じて、厚高の良さを感じていただけたと思います。終了後に行なったアンケートにおいても、「参加して良かった」「楽しかった」「入学しようと考えている」など好意的な感想が多く、おかげさまでとても良い取り組みとなりました。

中学校では、今後本格的に進路選択の時期となります。1人でも多くの生徒がこの厚真高校を志望してくれることを期待しています。

私たち厚南中学校3年生は、男子2人女子6人計8人のクラスです。とても少ない人数ですが、元気で活発なところはどこのクラスにも負けていません。

私たちはみんな、幼い頃からの友達で、お互いのことをよくわかり合っていて、仲も良いです。でも話し合いの時には本音で意見を言い合うことができます。時々、それがげんかになつてしまうこともあります。が、最後にはしっかりとお互いが納得して解決しています。

今年の学校祭は、中学校生活



最後というところでクラス全員が協力し、本番直前まで納得のいく作品を求め続けました。そのため、今まで以上の努力をしました。結果は、合唱・演劇ともに最優秀賞をとることができました。

今は3年生ということを受験モードになり、勉強でわからないところをお互いに教え合ったりしています。今後はますます勉強に忙しい日々が続きますが、みんなで支え合い、全員第一志望校に合格できるようにしていきます。

厚真町
地域おこし
協力隊

地域おこし協力隊 林業支援員
なかがやま むつき
中山 睦基さん (31歳)

着任 平成26年9月 (3年目)
出身地 北海道札幌市
活動内容 黒炭(軟炭)を作成しています

>普段どんな活動をしていますか?

「かまた木炭」で黒炭を作っています。作業工程は、木を割る→窯に木を入れる→火をくべる→炭を出す→炭を切る→梱包する、の繰り返しです。1サイクル2~3週間かかり、1窯300~500kg程の炭ができます。作業工程を繰り返すので単調に見えるかもしれませんが、実践しているととても奥深いです。炭だしの際、美しい漆黒になっている時がとても嬉しいです。

また、三本引き大会、ランタン祭り、森林植樹祭や田舎まつりの手伝いにも参加しました。田舎まつりでは炭を配布したり、警備を担当しました。

>今後の予定は? または 今後の目標は?

基本的に365日炭づくりです。窯の温度管理は難しく最高で600度以上になりますが、2、30度

のの違いで炭がボロボロになってしまいます。一人前になるまでは10年かかるといわれるこの世界で、早く火の管理を任せられるようになりたいです。炭づくりをたくて地域おこし協力隊になりました。厚真町で炭づくりに携わってから、会社の先輩や周囲の方々に助けられる毎日です。そんな方々へ早く恩返しできるように一人前になることが目標です。

◀炭づくりの様子

三年 岡澤 宏太くん (8歳)

全体のバランスに気をつけて書きました。はらいがうまく書けました。

ぼくのわたしの
作品紹介

三年 真野 薫くん (9歳)

はらいとハネがうまく書けました。特に4画目の横線の長さに気をつけて書きました。

短歌 冬支度なせる栗鼠の仕業なる近くの空には団栗の見ゆ (本郷 矢部 慧子)
東の間を家で過して寮に戻る高二になりし遅しき孫 (浜厚真 山田 志津)

年々の腐葉土の上に空っ風ころがり集まる今年の落ち葉 (本町 飛谷 富夫)
あつま文芸友の会発行「文芸あつま 第二十一号」から抜粋